

## 温 泉 分 析 書

- 1 申請者 静岡県伊東市富戸字三野原1301  
ベガスハウス
- 2 源泉名及び湧出地 対島温泉(対島22号)  
静岡県伊東市富戸字向沢1293-136番地
- 3 湧出地における調査及び試験成績
- (1) 調査及び試験者 株式会社サイエンス 青島孝幸
- (2) 調査及び試験年月日 平成23年3月19日
- (3) 泉温 59.6 °C (調査時の気温 15 °C)  
湧出量 171 L/min (掘削動力揚湯・水中ポンプ)
- (4) 知覚的試験 無色澄明、無味、無臭  
ガスの発生無し
- (5) 水素イオン濃度(pH値) 8.4
- 4 試験室における試験成績
- (1) 試験者 株式会社サイエンス 石川一郎
- (2) 分析終了年月日 平成23年3月31日
- (3) 知覚的試験 無色澄明、無味、無臭
- (4) 密度 1.0008 (20°C/4°C)
- (5) 水素イオン濃度(pH値) 8.46
- (6) 蒸発残留物 3.302 g/kg (180 °C)
- 5 試料1kg中の成分、分量及び組成

## (1) 陽イオン

成 分	ミリグラム (mg/kg)	ミリバル (mval/kg)	ミリバル% (mval%)
リチウムイオン $\text{Li}^+$	0.4	0.06	0.11
ナトリウムイオン $\text{Na}^+$	529.1	23.01	45.51
カリウムイオン $\text{K}^+$	16.3	0.42	0.82
マグネシウムイオン $\text{Mg}^{2+}$	0.2	0.02	0.03
カルシウムイオン $\text{Ca}^{2+}$	541.6	27.03	53.45
ストロンチウムイオン $\text{Sr}^{2+}$	1.7	0.04	0.08
陽イオン計	1089	50.57	100.00

## (2) 陰イオン

成 分	ミリグラム (mg/kg)	ミリバル (mval/kg)	ミリバル% (mval%)
フッ化物イオン $\text{F}^-$	0.8	0.04	0.09
塩化物イオン $\text{Cl}^-$	860.3	24.27	51.08
臭化物イオン $\text{Br}^-$	2.3	0.03	0.06
硫酸イオン $\text{SO}_4^{2-}$	1090	22.69	47.77
炭酸水素イオン $\text{HCO}_3^-$	12.2	0.20	0.42
炭酸イオン $\text{CO}_3^{2-}$	8.2	0.27	0.58
陰イオン計	1974	47.50	100.00

(3) 遊離成分

①非解離成分

成 分		ミリグラム (mg/kg)	ミリモル (mmol/kg)
メタ亜ヒ酸	HAsO <sub>2</sub>	0.7	0.01
メタケイ酸	H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	36.1	0.46
メタホウ酸	HBO <sub>2</sub>	24.9	0.57
非解離成分計		61.7	1.03

溶存物質(ガス性のものを除く) 3.125 g/kg

②溶存ガス成分

成 分		ミリグラム (mg/kg)	ミリモル (mmol/kg)
溶存ガス成分計		0.0	0.00

成分総計 3.125 g/kg

(4) その他微量成分

成 分		ミリグラム (mg/kg)
カドミウムイオン	Cd <sup>2+</sup>	0.001未満
鉛イオン	Pb <sup>2+</sup>	0.005未満
銅イオン	Cu <sup>2+</sup>	0.1未満
総水銀	Hg	0.0005未満

6 泉質

カルシウム・ナトリウム-塩化物・硫酸塩泉  
(低張性・弱アルカリ性・高温泉)

7 禁忌症、適応症等は別表による。

平成 23 年 4 月 1 日

温泉分析機関 静岡県第5号

静岡県静岡市葵区瀬名中央一丁目7番55号

株式会社 サイエンス 代表取締役社長 堀池 重治



## 温泉分析書別表

1. 源泉名 対島温泉 (対島 22 号)
2. 源泉所在地 静岡県伊東市富戸字向沢 1293-136 番地
3. 温泉分析申請者 静岡県伊東市富戸字三野原 1301 ペガサスハウス
4. 泉 質 カルシウム・ナトリウム-塩化物・硫酸塩泉 (低張性・弱アルカリ性・高温泉)
5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。

(1) 浴用の禁忌症

急性疾患 (特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性の疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (特に初期と末期)

(2) 浴用の適応性

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、打ち身、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、動脈硬化症

(3) 浴用上の一般的注意事項

- ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を 1 日当たり 1 回程度とすること。その後は 1 日当たり 2 回ないし 3 回までとすること。
- イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね 2 ないし 3 週間を相当とすること。
- ウ. 温泉療養開始後おおむね 3 日ないし 1 週間前後に湯あたり (湯さわり又は浴湯反応) が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ. 以上のほか、入浴には次の諸点に注意すること。
  - (ア) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは 3 分ないし 10 分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
  - (イ) 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
  - (ウ) 入浴後は、身体に付着した温泉成分を水で洗い流さない (湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。)
  - (エ) 入浴後は湯冷めに注意して一定の時間の安静を守る。
  - (オ) 次の疾患については原則として高温浴 (42℃以上) を禁忌とする。
    - イ. 高度の動脈硬化症
    - ロ. 高血圧症
    - ハ. 心臓病
  - (カ) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
  - (キ) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。
  - (ク) 飲酒しての入浴は特に注意する。

(注) この別表は、温泉法第 18 条による掲示に必要な参考資料となるものである。

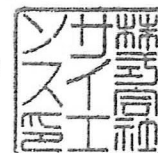
(注) 温泉飲用にあたっては、細菌検査及びその他の有害物質等の分析検査を実施し、衛生状態の確認が必要です。

別表発行年月日 平成 23 年 4 月 1 日

静岡県静岡市葵区瀬名中央一丁目 7 番 55 号

株式会社 サイエンス

代表取締役社長 堀池 重治



別紙（用紙 日本工業規格 A 4 縦型）

<p>1 源泉名 対島温泉 対島 2 2 号</p>	<p>2 温泉の泉質 カルシウム・ナトリウム－塩化物・硫酸塩泉 (低張性・弱アルカリ性・高温泉)</p>
<p>3 源泉の温度  59.6 °C</p>	<p>4 温泉を公共の浴用又は飲用に供する場所における温泉の温度  41.0 °C</p>
<p>5 温泉の成分  温泉分析書のとおり</p>	
<p>6 温泉の成分の分析年月日  平成 23 年 4 月 1 日</p>	<p>7 登録分析機関の名称及び登録番号 名称 株式会社サイエンス 番号 静岡県 第 5 号</p>
<p>8 温泉に水を加えて公共の浴用に供する場合は、その旨及びその理由 加水の有無 有 加水の理由 供給量を満たすため</p>	
<p>9 温泉を加温して公共の浴用に供する場合は、その旨及びその理由 加温の有無 有 加温の理由 温度調整のため</p>	
<p>10 温泉を循環させて公共の浴用に供する場合は、その旨（ろ過を実施している場合は、その旨を含む。）及びその理由 ① 循環の有無 有 循環の理由 浴槽を衛生的に保つため  ② ろ過の有無 有 ろ過の理由 浴槽を衛生的に保つため</p>	
<p>11 温泉に入浴剤（着色し、着香し、又は入浴の効果を高める目的で加える物質をいう。ただし、入浴する者が容易に判断することができるものを除く。）を加え、又は温泉を消毒して公共の浴用に供する場合は、当該入浴剤の名称又は消毒の方法及びその理由 ① 入浴剤の使用の有無 無 入浴剤の名称 入浴剤の使用の理由  ② 消毒の有無 有 消毒の方法 ろ過等の過程で塩素を注入する  消毒の理由 県条例等の基準を満たすため</p>	
<p>12 浴用又は飲用の禁忌症  温泉分析書のとおり</p>	
<p>13 浴用又は飲用の方法及び注意  温泉分析書のとおり</p>	